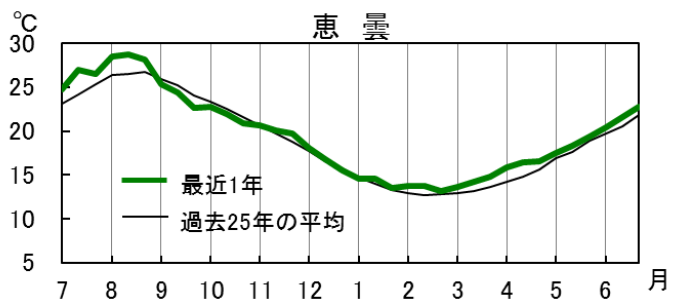
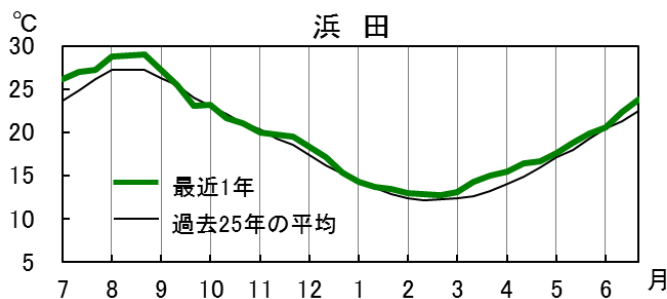




《6月の海況》



6月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	22.2℃	+0.8℃	やや高め	21.7℃	+1.0℃
中旬	かなり高め			やや高め		
下旬	やや高め			やや高め		



《6月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類が平年の2.5倍、マアジは平年の9割でした。隠岐地区ではウルメイワシ、サバ類、マイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は84.2トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ウルメイワシは3,572トンで平年の1.6倍、サバ類は2,774トンで平年の3.3倍でした。一方、マイワシは2,311トンで平年の8割でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)での漁獲はケンサキイカ、スルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は82.4kgで平年の約6割となりました。西郷地区(属人5トン以上)での漁獲はスルメイカが主体で、1隻1航海当りの漁獲量は110.8kgと、平年の6割ほどの水揚げでした。

【ばいご漁業】

石見地区ではエッチュウバイを主体に、総漁獲量は36.3トンと平年の1.4倍、1統1航海当たりの漁獲量は1.2トンで平年並みでした。エッチュウバイの漁獲量は33.6トンで平年の1.3倍、銘柄別では「中」「中大」および「大」の3銘柄で全銘柄の約8割を占め、特に「中大」は9.2トン、「大」は14.3トンと、それぞれ平年の1.6倍でした。

【しいら漬け漁業】

6月から始まった石見地区のしいら漬け漁業はシイラ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は0.7トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、シイラは6.9トンで平年の3割となり、ヒラマサはほとんど漁獲されませんでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではマアジ、サバ類、ホソトビウオ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は25.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の7割、ホソトビウオは平年の5割でした。また、例年漁獲量が少なくなるサバ類は、平年の5.9倍となりました。石見地区ではケンサキイカ、マアジ、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は16.6トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の1.2倍、ブリは平年の2.4倍でした。また、例年漁獲量が多くなるマアジは、平年の4割程度となりました。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は28.0トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.4倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.5kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の5割でした。石見地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は15.3kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の6割でした。隠岐地区では、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.6kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、カサゴ・メバル類は平年の9割でした。

【令和5年6月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	ウルメイワシ、サバ類、マイワシ	9,436トン	156%	120%	84.2トン	152%	152%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ、スルメイカ	5.6トン	35%	61%	136.8kg	51%	60%
	西郷	スルメイカ	18.8トン	116%	52%	110.8kg	103%	59%
ばいかご	石見	エッチュウバイ	36.3.トン	144%	123%	1.2トン	84%	98%
しいら漬け	石見	シイラ	7.4トン	23%	17%	738kg	47%	55%
定置網 (大型)	出雲	マアジ、サバ、ホソトビウオ	335トン	73%	74%	25.8トン	73%	71%
	石見	ケンサキイカ、マアジ、ブリ	66.3トン	57%	71%	16.6トン	57%	71%
	隠岐	ブリ	83.8トン	93%	103%	28.0トン	93%	103%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ	31.0トン	139%	83%	17.5kg	101%	88%
	石見	ケンサキイカ	36.5トン	105%	81%	15.3kg	92%	83%
	隠岐	カサゴ・メバル類	23.1トン	117%	72%	17.6kg	73%	67%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ